

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表: 令和 4年 3月 20日 期間: 令和 4年 2月 1日～令和 4年 2月 28日

事業所名 放課後等デイサービス 能力探求スクール ジーニアスロボ平手校 保護者等数(児童数) 41 回収数 33 割合 80 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	11	6	5		狭いため、せめて整理整頓と清掃を徹底しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	15	7	4	7		スタッフ格差をなくせるよう知識と技術の向上のため研修などに参加。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	8	3	11		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	14	9	1	9	沿っているかわからない。	適切なモニタリングを行う。
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	15	13	0	5		定期的な見直しを実施
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	12	4	8	9		
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	3	3	11		どちらも更新時期には再度説明を行う。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12	6	5	10	デイから伝えられているがこちらの話が伝わっているかわからない。	スタッフへの情報共有の徹底。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	5	8	6		公式ラインを活用したり送迎時に聞き取りを行う。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	3	15	12		要望を吸い出し、希望者参加型で行うよう準備中
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	12	2	8		人的ミスの再発防止に努めます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12	5	3	13		公式ラインや利用表を活用。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	20	1	0	12		活動に関することだけでなくとどまらず、ご意見をいただいたらSNSでも発信する。
14 個人情報に十分注意しているか	18	5	0	11			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	11	2	11	感染対策は知らせがあったが、防犯などは覚えがない。	BCPIに沿って面談時などに説明する機会を設ける。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17	3	0	13		
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	21	2	2	8	毎日行くのが本当に楽しそうです。	継続して楽しめるように尽力します。
	18 事業所の支援に満足しているか	17	7	2	7		表出されていないクレームを聞き取るようなモニタリングを行う。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。